

越野運送

# 環境負荷低減に全力

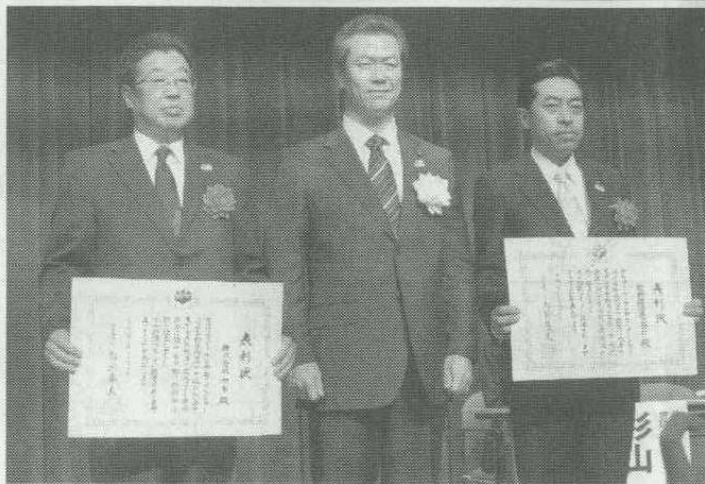
## グリーン物流大臣表彰を受賞

平成22年度エコドライブコンテストの優秀賞受賞に続き、グリーン物流優良事業者表彰の国土交通大臣表彰に輝いた越野運送(大阪市都島区)。越野泰弘社長は「ドライバーをはじめ従業員みんなの取り組みや努力が形になって表れ、評価されたことは励みになる」と語り、「価格競争に巻き込まれないよう低炭素型の物流を切り口に、新たな販路拡充につなげたい」と意気込みを語る。

グリーン物流優良事業者表彰は、荷主とのパートナーシップで二酸化炭素排出量削減の取り組みを推進するもので、繊維商社のヤギ(大阪市中央区)との連携で物流システムを構築した。ミルクランやモーターシフトで輸送効率を大幅に改善。さらに、天然ガス自動車の導入で環境保全に関する活動に積極的に取り組んだことが評価された。

同社は昨年6月に荷主と各地域の工場間の協力を得て、発注数や発注時期を調節し納入計画や配車計画を新たに策定。一元・集約化したミルクラン方式による集荷・納品配送を行い、さらにモーターシフトにも移行。加えて天然ガス自動車を使用することで環境負荷低減の物流システム構築を推進した。同プロジェクトにより「ミルクラン方式物は違うサービスを打ち

出したい」という顧客の提案から着手。同社長は「商品は嵩物で12フィートコンテナに詰めないこともあり、ヤギ様は約1割コスト増になったが、今後はパッケージの見直しやエコドライブのマンパ



越野社長(右)とヤギの朝野幸博専務(左)、中央は馬淵国交大臣

他のメーカーも巻き込んで、相対的なコスト削減に努めたい」と意気込む。

また、「今回のプロジェクトは当社が単独で取り組むのは不可能で、ダスキン様の発注量調節の協力があったなし得た」と話し、「化石燃料を使用している事業者にとって、環境に優しい物流システムや天然ガス車の導入、エコドライブのマンパ

また、今回のダブル受賞を祝い、ドライバーや従業員に対しても、苗木や給与明細と一緒に感謝の言葉などを贈った。

同社は、安全性優良事業所(Gマーク)やグリーン経営をはじめ、品質のISO9001、昨年4月には環境の14001認証を取得している。

(山田克明)